

乳腺の医療連携は  
専門医のいるクリニックに  
限るべきではない

# 非専門医がよいところ

- 対象施設・医師が潤沢  
→ニーズ(性格・地域など)に合わせやすい
- 他の疾患(合併症・・・高脂血症・骨粗鬆症・心療内科)に対応しやすい  
→長期フォローではこれらが重要  
既往症のかかりつけ医なら、ついでにやりやすい
- 合併症(浮腫・更年期など)は専門医だけでは対処できない→婦人科・理学療法士 他  
→専門医にこだわっても仕方ない

# 専門医だけでは・・・

- 基幹病院の患者さんを受け入れ可能なの？  
全国の患者さんの近くに専門医はいるのか？  
患者のニーズ（場所・時間・サービス）に  
合っているのか？
- 合併症や併存症も一緒に扱えるのか？

# 専門医じゃダメなところ

- 厳密には、技量は分からない  
→あくまでも最低限の知識・技能レベル保障のみ
- “人となり”は分からない。  
→専門医は“社会性”を保障するものではない